

式辞

本日、平成三十年度秋田県立西仙北高等学校入学式を挙げるに当たり、本校後援会会長 小松隆明 様をはじめ、多数のご来賓の皆様のご臨席を賜りましたことに深く感謝申し上げます。

ただいま本校への入学を許可しました二十九名の新入生に対し、職員、在校生一同、心から歓迎いたします。新入生の皆さんは、西仙北高等学校生として学んでいく道を選びました。自分の意志で自分の進むべき道を決めたことは、とても尊いことでもあります。そのような皆さんに今後の三年間、常に心に持ち続けてほしいことがあります。それは、自分で限界をつくらないということです。昨年は十台の若者が日本を沸かせました。卓球では張本智和選手が十四歳六か月で全日本選手権を制覇しました。プロ将棋の世界では、藤井聡太さんが連勝記録をつくり、十五歳六か月で全プロ棋士が参加した大会で優勝しました。彼らの活躍は、これまでの常識では想像すらできなかったものであります。高い理想とすぐれた向上心のもと、ひたすら努力した結果、常識を打ち破ったともいえるでしょう。皆さんもそれぞれ、自分はこうありたい、こうなりたいという理想を持っていると思います。その理想を思いっきり高く持ってはみませんか。理想や希望を持ち努力することは若者の特権です。努力することにより、皆さんの個性や能力が磨かれ、思いもよらない結果を生むこともあるのではないのでしょうか。これからの本校での高校生活を通じて、これまで想像すらできなかったすばらしい自分をつくり上げていってほしいと願っています。

保護者の皆様、本日はお子さまのご入学、誠におめでとうございませう。本校は「二十一世紀をたくましく生き、社会に貢献する人間の育成」を教育目標に掲げ、教育活動に取り組んでおります。物事に積極的に挑戦する姿勢を持ち、自分の可能性を信じ続けることのできる生徒の育成のため、私たち職員は力を尽くしてまいります。本日入学したお子さまたちが、今後の三年間で見事な成長を見せ、西仙北高校に学んでよかったと心から思っただけよう努めてまいります。そのためにも、ご家庭と学校がそれぞれの役割を果たしながら、協力し合っていくことが必要です。保護者の皆様には、本校教育に対するご理解をいただくとともに、ご支援、ご協力を心からお願いいたします。

結びになりますが、改めまして本日ご臨席いただきました皆様に感謝申し上げますとともに、新入生の皆さんの本校での健闘と飛躍を心から期待して、式辞といたします。

平成三十年四月六日

秋田県立西仙北高等学校長
佐藤智和